

取扱説明書

(保証書付)

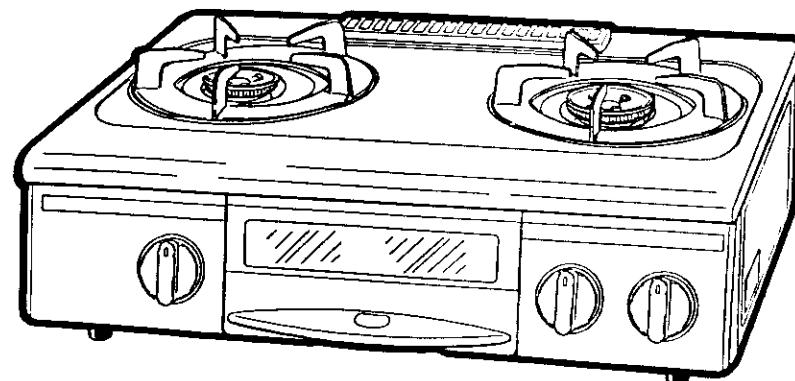
保証書はこの取扱説明書の裏表紙についてあります。

日立ガステーブル

〈ガスグリル付二口コンロ〉

GHG-316FL GHG-316FR

家庭用



もくじ

ページ

安全のため必ずお守りください…	2～3
各部の名称…	4
機器の設置…	4～5
コンロの使いかた…	6
グリルの使いかた…	7
日常の点検とお手入れ…	8
故障かな?と思ったら…	9
保証とアフターサービス…	9
仕様…	裏表紙

形式名	GHG-316FL(R)	使用ガス	1時間当たりのガス消費量				ガス接続
			全ガス消費量	強火コンロ	標準コンロ	グリル	
種類	ガスグリル付 二口コンロ	L3 (4A,4B,4C)					
点火方式	圧電点火	L2 (5A,5B,5AN)					
安全装置	立消え安全装置	6A					呼び寸法 9.5mm 都市ガス用ゴム管
外形寸法	(高さ) 220mm (幅) 590mm (奥行) 472mm	5C (7C,6B,6C)					
重量	8.3kg	L1 (7C,6B,6C)					
		12A	9.21(7,920)	4.53(3,900)	2.76(2,370)	2.16(1,860)	
		13A	9.88(8,500)	4.88(4,200)	2.97(2,550)	2.33(2,000)	
		L-Pガス用 kW(kg/h)	9.38(0.672)	4.20(0.301)	2.96(0.212)	2.16(0.155)	呼び寸法 9.5mm L-Pガス用ゴム管

愛情点検



長年ご使用のガステーブルの点検を!

●ガステーブルの補修用性能部品の最低保有期間は、
製造打切後 5 年です。

ご使用の際
このようなことは
ありませんか?

- ガス用ゴム管にヒビ割れが生じている。
- 機器の周辺でガスの臭いがする。
- 炎の状態が赤火となっている。
- 異常な音をたてて燃えている。
- 点火しにくい。●その他の異常がある。

▶ お願い

故障や事故防止のため、ガス栓を
閉じて販売店にご連絡を…。
点検・修理についての費用など詳
しいことは販売店にご相談ください。

新商品情報・商品選択など、家電品のお買物相談承る窓口
0120-312111
お買物相談センター

株式会社 日立製作所 株式会社 日立ホームテック

〒105 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03)3502-2111

ガステーブル保証書 出張修理

* 形名	保証期間	本体: 1年
* お買上げ日	平成 年 月 日	
* お客様 ご住所 ご芳名	様	
* 販売店 店名	電話 ()	

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買上げの販売店が無料修理いたします。
お買上げの日から左記の期間内に故障した場合は、お買上げの販売店に出張修理をご依頼のうえ本書をご提示ください。

*印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (2) お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常ガス圧、指定外ガスでの使用による故障または損傷。
 - (4) 車両、船舶にどう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (5) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
 - (6) 本書のご提示がない場合。
 - (7) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えた場合。
 - (8) ご転居等による熱量変更に伴う改造や調整。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または別紙のご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12 TEL(03)3502-2111

NB26-39 A-00E/M

このたびは、日立ガステーブルをお買上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、よく理解した上で、ご使用ください。
なお、お読みになったあとは「ご相談窓口一覧表」とともに、大切に保存してください。

安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を行っています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険

△警告

△注意

この表示は、誤った取扱をすると、使用者が死亡・重傷などの危険が切迫して生じることが想定される内容を表示しています。

この表示は、誤った取扱をすると、使用者が死亡・重傷などの可能性が想定される内容を表示しています。

この表示は、誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

絵表示の例	禁止の行為を表す
	強制の行為を表す

△危険

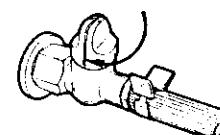
ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気づいたときは右記の処置が終わるまで絶対に電源プラグの抜き差し、電気機器のスイッチの「入・切」、ライターなどの使用はおやめください。

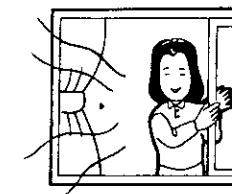
- 爆発の危険があります。

（ガス漏れに気づいたら）

1 ガス栓を閉める。



2 窓や戸を開ける。



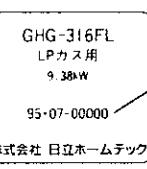
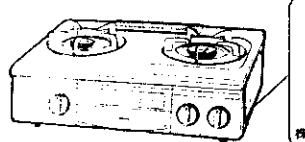
3 お買上げの販売店か最寄りのガス会社へ連絡する。



△警告

ガス事故防止

○銘板に表示のガス種以外では使用しないでください。
(銘板の例)



製造番号は製造年月を表示しています。
(例示は1995年7月製です。)

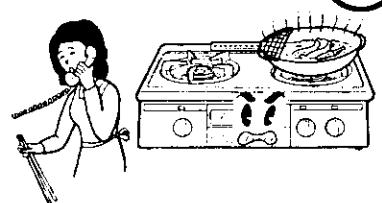
- ガス種が違うと不完全燃焼により一酸化炭素中毒や、爆発着火でやけどの恐れがあります。
- 転居されたときも必ずガス種が銘板表示と一致していることを確認してください。

火災予防

火をつけたまま機器のそばを離れたり、お出かけ、おやすみは絶対しないでください。

- 調理中のものが異常過熱して火災の危険があります。特に天ぷら揚げをしているときは

注意してください。



異常時の処置

万一異常燃焼(ゴーゴー音をたてて燃える)を起こしたときや、地震など緊急の場合は、あわてずに消火し、ガス栓を閉じてください。

安全のため必ずお守りください

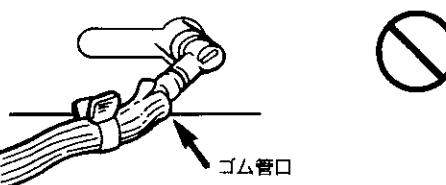
△注意

ガス事故防止

○ゴム管はガス用ゴム管（検査合格またはJISマークの入っているもの）を使用してください。



○ゴム管は古くなるとひび割れや差し込み口がゆくなって、ガス漏れの原因となります。ときどき点検し、取替えてください。



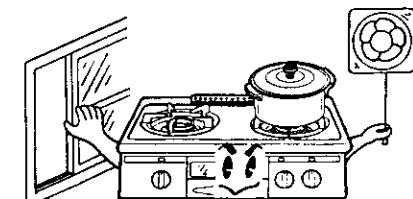
○使用後は必ず消火を確かめ、お出かけやおやすみの際にはガス栓を閉じてください。



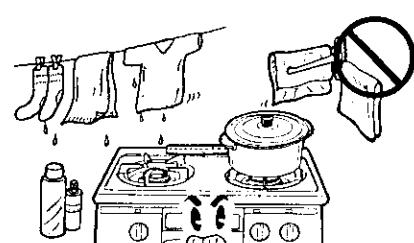
換気に注意

○使用と同時に換気扇を回すなど、換気には十分注意してください。

●閉めきった部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼により一酸化炭素中毒のおそれがあります。



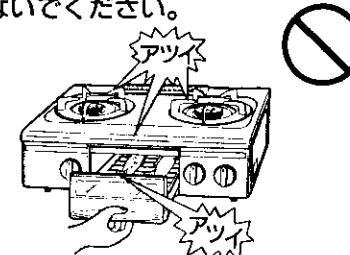
●他の燃焼器具と併用しているときは、特に換気に注意してください。



やけどの注意

使用中や使用直後は器具の各部分が高温になっています。器具せんつまみやグリルとびらにとって以外の部分には手など触れないでください。

●やけどのおそれがあります。特にグリル部付近は高温になっていますので、注意してください。



使用上の注意

○調理以外の用途（炭・練炭おこし等）には使用しないでください。



- 過熱や異常燃焼による火災や焼損などの危険があります。

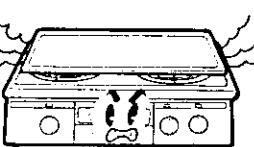
○市販のアルミ箔のマット（ガスマット）は使用しないでください。

- バーナーボディとの隙間がふさがれると、不完全燃焼して一酸化炭素中毒の原因となります。

○こんろを覆ってしまうような補助具や大きな鉄板、陶板、市販のガス節約器、上のせてんぴなどは使用しないでください。

- 不完全燃焼による中毒、過熱や異常燃焼による火災や焼損などの危険があります。

●煮こぼれがトッププレートへこびりつき、取れにくくなります。



○煮こぼれには注意してください。

- 煮こぼれしたときはその都度ふきとってください。放置すると不完全燃焼の原因となります。

○グリル水入れ皿には水以外のもの（例えばグリル石など）を入れて使用しないでください。

- 脂が過熱され、燃えることがあります。

○グリル焼網はコンロの上に乗せて焼物用として使用しないでください。

- 変形します。

○グリルケース内の油汚れも定期的に清掃してください。

- 放置すると臭いや発火のおそれがあります。

○点火操作時、バーナ付近に顔を近づけ過ぎないようしてください。

- 炎や熱でやけどのおそれがあります。

○強火で使用する場合、とてが樹脂のやかんやフライパンなどは注意してください。

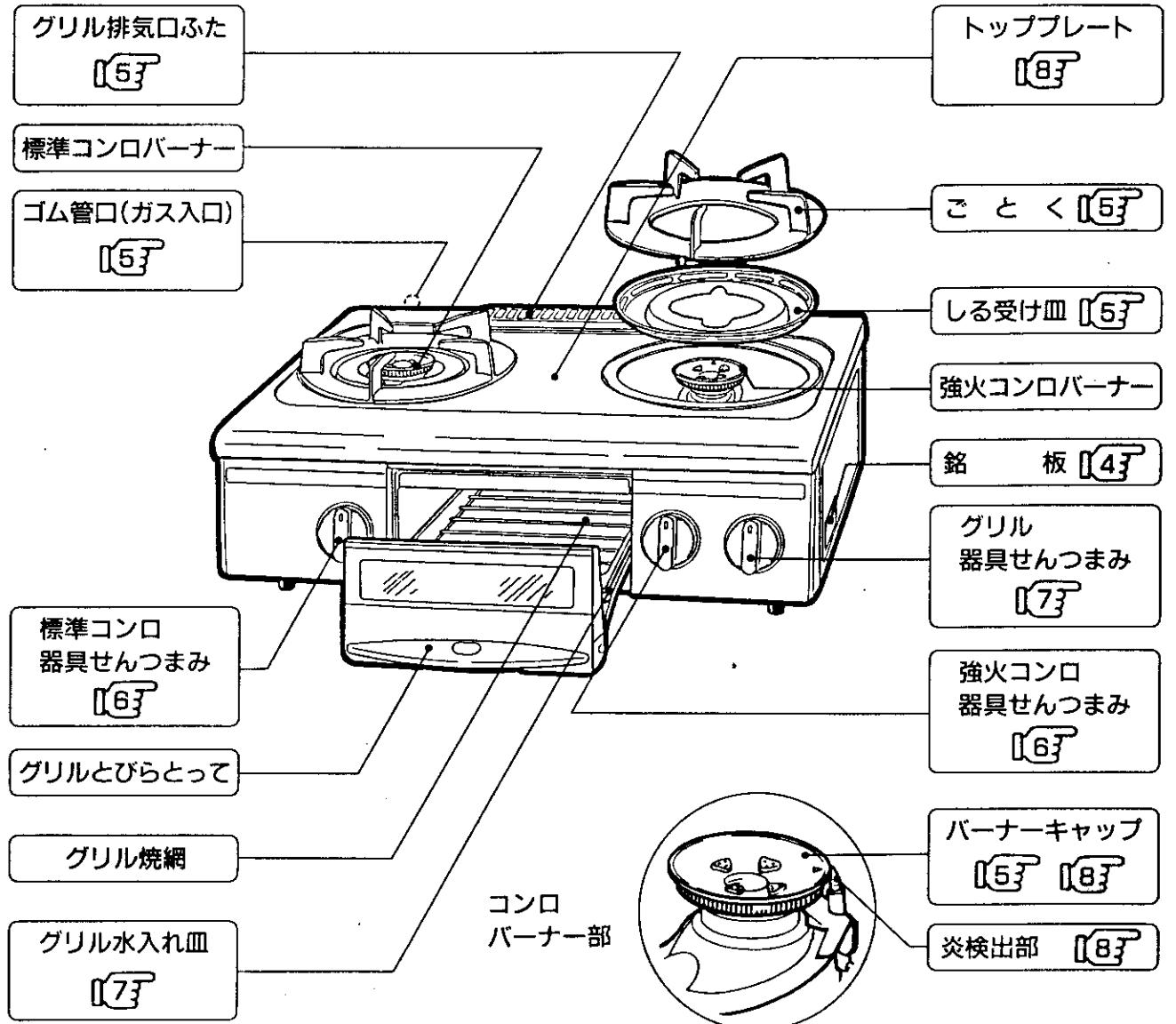
- 樹脂部分が破損するおそれがあります。

○グリル使用時、グリル扉に水をかけたり、強い衝撃を与えるしないでください。

- ガラスが割れることがあります。

各部の名称

このマークの中の数字は、主な説明のあるページです。
図は右が強火コンロバーナーのGHG-316FLの場合です。



- GHG-316FLは、左側が強火コンロバーナー、右側が標準コンロバーナーです。
- GHG-316FLは、右側が強火コンロバーナー、左側が標準コンロバーナーです。

機器の設置

準備

警告

- ガスの種類を確認します。
器体(銘板)に表示のあるガス以外では絶対に使用しないでください。
銘板は器体右側面に貼ってあります。

(銘板の例)
製造番号は製造年月
を表示しています。
(例示は1995年)
(7月製です。)

GHG-316FL
LPガス用
9.38kW
95-07-00000
株式会社 日立ホームテック
LPGas用の場合

GHG-316FL
都市ガス用
13A 9.88kW
12A 9.21kW
95-07-00000
株式会社 日立ホームテック
都市ガス用13A, 12Aの場合

機器の設置

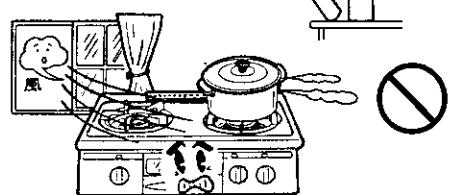
標準バーナーを壁側にくるように設置してください。

設置場所について

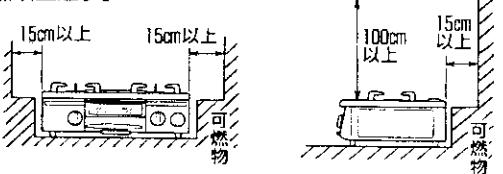
警告

● 設置場所の注意

- ①次のような場所には設置しないでください。
 - 風の吹き込むところ。
 - 棚の下など落下物の危険のあるところ。
 - カーテンや燃えやすいものの近く。
 - 樹脂性の照明器具やガス湯沸器の下。

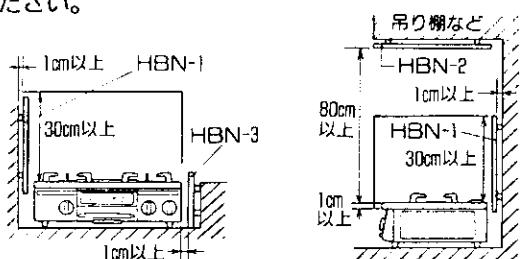


- ②安定性の良い水平で丈夫な台の上に設置する。
- ③換気(給気・排気)が十分できるところに設置するか、換気できるようにしてご使用ください。
- ④ガステーブルと家具、壁、その他の可燃物とは、次のような距離をあけます。
 - ガステーブルの側面、背面などの周囲と、可燃性の壁の間は15cm以上離す。
 - ガステーブルの上方と、可燃物の天井、棚などの間は、100cm以上離す。



● 防熱板による防火措置

- ①上記の距離をあけられないときは、必ず当社指定の防熱板を取り付けます。
 - 可燃物の壁から15cm以上離せないときは、下図のように別売の防熱板を取り付ける。
 - 上方の天井などが不燃材であったり、防熱板などで仕上げた場合、上面との距離は80cmになる。
- ②防熱板については、お買い上げの販売店におたずねください。



● 別売防熱板の種類 (ステンレス製0.5mm)

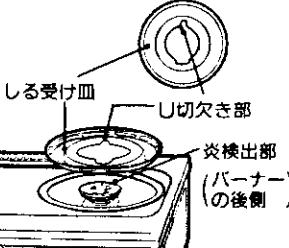
	HBN-1	HBN-2	HBN-3
厚さ	1.5cm	1.5cm	1.5cm
高さ	40cm	40cm	10cm
幅	59cm	90cm	53.5cm

ステンレス板やタイルなどを可燃性の壁に直接張りつけた場合も、伝熱により長年の間に可燃性のものが炭化し、火災になりますので、上記いずれかの防火措置のうえお使いください。

部品のセット

① しる受け皿

- しる受け皿は内側の穴の大きい方を強火コンロに、小さい方を標準コンロにセットします。
- しる受け皿のU切欠き部と、立消え安全装置の炎検出部を合わせておきます。

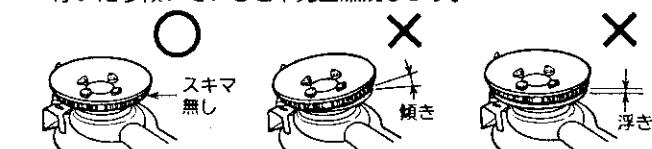


② バーナーキャップ

- 大きい方を強火コンロに、小さい方を標準コンロにセットします。
- 大きいバーナーキャップは上面の「マエ」を手前に向け、浮き上りのないようセットします。

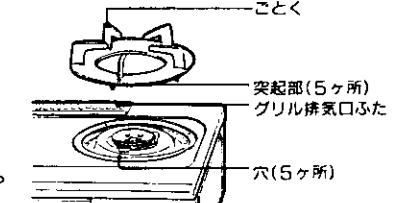


- 正しく取付けられているか確認します。
浮いたり傾いていると不完全燃焼します。



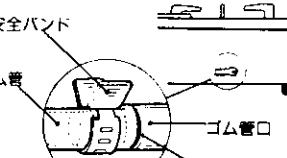
③ ごとく・グリル排気口ふた・グリルの部品

- ごとくは突起部(5ヶ所)をトッププレートの穴に合わせてセットします。
- グリル排気口ふたをのせます。
- グリルケースにグリル水入れ皿、グリル焼網をセットします。



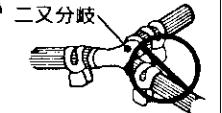
ゴム管の接続のしかた

- 新しいガス用ゴム管(検査合格またはJIS入)を用意します。
- ゴム管は、折れたり、ねじれたりしないようできるだけ短いもの(適当なゆとりはもたせ、2m以下)にします。
- お部屋のガス栓とガステーブルのゴム管口を、ガス用のゴム管で接続します。
- ゴム管の両端を、ガス栓とゴム管口それぞれの赤い線まで差し込み、安全バンドで止めます。



△ 注意

- ゴム管を機器の下に通したり、機器に触れたりしないように、また過熱することのないようにトッププレートより低い位置にセットします。
- ゴム管は、油や薬品で損傷することがあります。ゴム管の使用状態が常に点検できるように見える位置に接続します。
- ひび割れたり、差し込み口がゆるんで二又分岐するゴム管の使用や、ゴム管の継ぎ足し、二又分岐はガス漏れの原因となるので、行なわないでください。



機器の設置

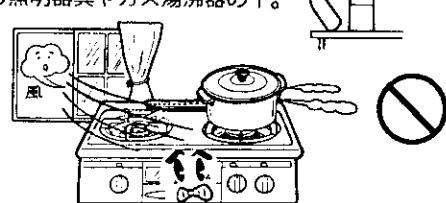
標準バーナーを壁側にくるように設置してください。

設置場所について

警告

● 設置場所の注意

- ①次のような場所には設置しないでください。
 - 風の吹き込むところ。
 - 棚の下など落下物の危険のあるところ。
 - カーテンや燃えやすいものの近く。
 - 樹脂性の照明器具やガス湯沸器の下。

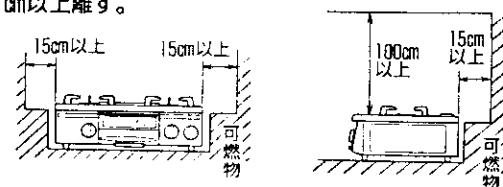


- ②安定性の良い水平で丈夫な台の上に設置する。

- ③換気(給気・排気)が十分できるところに設置するか、換気できるようにしてご使用ください。

- ④ガステーブルと家具、壁、その他の可燃物とは、次のような距離をあけます。

- ガステーブルの側面、背面などの周囲と、可燃性の壁の間は15cm以上離す。
- ガステーブルの上方と、可燃物の天井、棚などの間は、100cm以上離す。



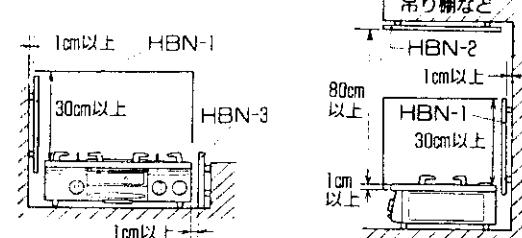
●防熱板による防火措置

- ①上記の距離をあけられないときは、必ず当社指定の防熱板を取り付けます。

- 可燃物の壁から15cm以上離せないときは、下図のように別売の防熱板を取り付ける。

- 上方の天井などが不燃材であったり、防熱板などで仕上げた場合、上面との距離は80cmになる。

- ②防熱板については、お買い上げの販売店におたずねください。



- 別売防熱板の種類 (ステンレス製0.5mm)

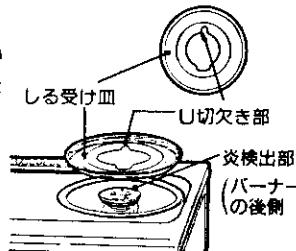
	HBN-1	HBN-2	HBN-3
厚さ	1.5cm	1.5cm	1.5cm
高さ	40cm	40cm	10cm
幅	59cm	90cm	53.5cm

ステンレス板やタイルなどを可燃性の壁に直接張りつけた場合も、伝熱により長年の中に可燃性のものが炭化し、火災になることがありますので、上記いずれかの防火措置のうえお使いください。

部品のセット

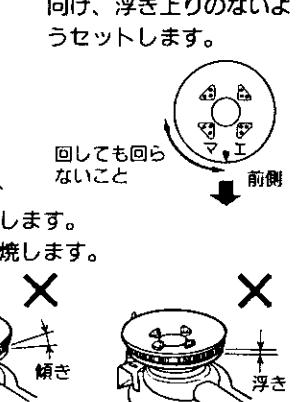
①しる受け皿

- しる受け皿は内側の穴の大きい方を強火コンロに、小さい方を標準コンロにセットします。
- しる受け皿のU切欠き部と、立消え安全装置の炎検出部を合わせてのせます。



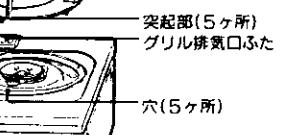
②バーナーキャップ

- 大きい方を強火コンロに、小さい方を標準コンロにセットします。
- 大きいバーナーキャップは上面の「マエ」を手前に向け、浮き上りのないようセットします。
- 正しく取付けられているか確認します。浮いたり傾いていると不完全燃焼します。



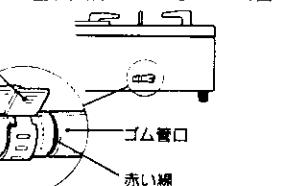
③ごとく・グリル排気口ふた・グリルの部品

- ごとくは突起部(5ヶ所)をトッププレートの穴に合わせてセットします。
- グリル排気口ふたをのせます。
- グリルケースにグリル水入れ皿、グリル焼網をセットします。



ゴム管の接続のしかた

- 新しいガス用ゴム管(検査合格またはJIS入)を用意します。
- ゴム管は、折れたり、ねじれたりしないようできるだけ短いもの(適当なゆとりはもたせ、2m以下)にします。
- お部屋のガス栓とガステーブルのゴム管口を、ガス用のゴム管で接続します。
- ゴム管の両端を、ガス栓とゴム管口それぞれの赤い線まで差し込み、安全バンドで止めます。



△注意

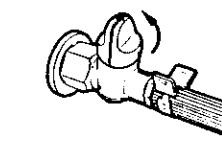
- ゴム管を機器の下に通したり、機器に触れたりしないように、また過熱することのないようにトッププレートより低い位置にセットします。
- ゴム管は、油や薬品で損傷することがあります。ゴム管の使用状態が常に点検できるように見える位置に接続します。
- ひび割れたり、差し込み口がゆるんでい、二又分岐するゴム管の使用や、ゴム管の継ぎ足し、二又分岐はガス漏れの原因となるので、行なわないでください。

点火

1 ガス栓を全開にします。

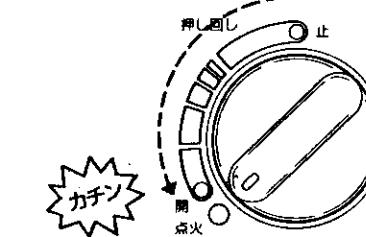
消火の状態を確認してから、お部屋のガス栓を全開にします。

- ガス栓を開いたら、なべ等をのせてください。



2 器具せんつまみをイッパイに押し、押したまま「点火」位置まで回します。

「カチン」と音がしてバーナーに点火します。



3 着火を確かめてから数秒間(安全装置がセットされるまでの時間)つまみを押したまま保持し、静かに手をはなします。

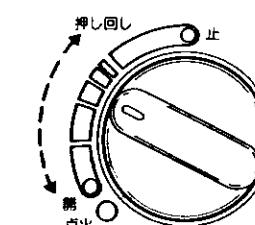
- 器具せんつまみを押している時間が不足した場合、安全装置がセットされず、火が消えてしまいます。もう一度点火操作をくり返してください。

- (お願い)**
- 朝や長時間ガス栓を開いていた場合に初めて使うときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくことがあります。このときは、2~3回点火操作をくり返してください。
 - 煮こぼれが炎口につまると、炎の状態が変わり、安全装置がセットされるまでの時間が長くなることがあります。煮こぼれたときは必ずバーナーの掃除を行なってください。

火力調節

器具せんつまみの0印が「開」位置のとき最も強く、「止」方向へ戻していくにつれて弱くなります。

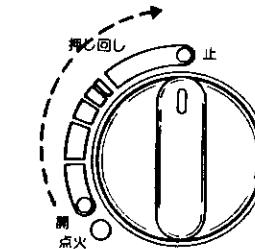
- 弱火力にするときは、炎を見ながらゆっくり調節してください。急激に回すと消火があります。
- 炎をあまり小さくしますと、風などで消えることがありますので、ご注意ください。



1 器具せんつまみを「止」方向へ戻まるまで戻します。

ガスが止まって消火します。

- 必ず止まるまで戻して消火したことを確認してください。
- 消火時に「ポン」と音がすることがあります。これは火が消えたときの音で、異常ではありません。



2 ガス栓を閉じます。

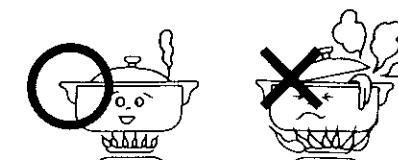
- 再点火は、消火操作後4~5秒たってから行ってください。すぐに再点火すると、ゴーゴー音がして燃えることがあります。

- △注意**
- コンロとグリルを同時に使うときは、コンロにかけたなべのとてをグリル排気口の方にむけないでください。排気口からの熱のためとてが熱くなります。
 - 強火コンロは火力が強くバーナーキャップも大きいため、なべのとて等の樹脂部が過熱され、変形するおそれがあります。ご使用時は十分注意してください。特に小さななべでは火力を小さくするなど、十分注意してください。

上手な使いかた

- なべに合った火力で使いましょう。炎の先端がなべ底にあたる程度が最適です。

それ以上大きくするのはガスのムダになります。



- 一度煮たちましたら、沸騰が続く程度の火力に絞ってお使いください。煮こぼれの防止と、ムダなくガスをお使いいただけます。

- 強火コンロ使用時、火力を絞っても火力が強すぎる場合は、標準コンロにのせ直してお使いください。

- なべをコンロにかける前になべ底の水気をふきとりましょう。水分が付着していると、余分な熱が必要になり、ガスのムダになります。

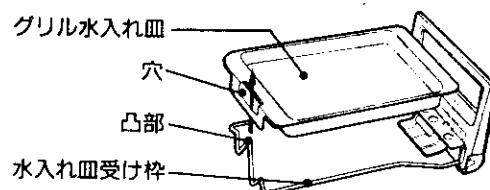
グリルの使いかた

初めて使うときは、グリル水入れ皿に水を入れ10分ほどから焼きをします。から焼きは庫内の油を焼ききるために、煙が出ても異常ではありません。

準
備

1 グリル水入れ皿をセットします。

水入れ皿受け枠の凸部が、グリル水入れ皿の穴に入るよう
にセットします。



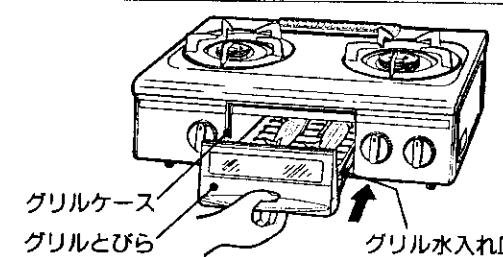
2 グリル水入れ皿にコップ1杯分(約200ml)の水を必ず 入れて、グリル焼網をセットします。

●グリル焼網は、反転すると高さが変りますので、焼くものの厚さ、焼き方などによって高さを変えてお使いください。



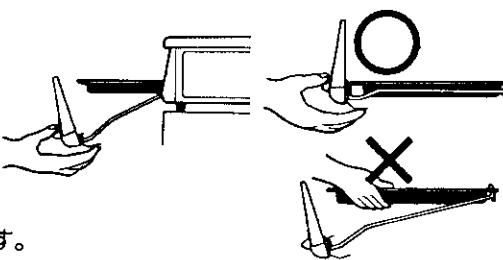
3 グリル焼網の上に魚など焼くものをのせ、グリル水 入れ皿をグリルケース内に差し込み、グリルとびら が突き当るまで押し込みます。

●グリルとびらは、きちんと奥まで押し込んでお使いください。開いたまま使用しますと、トッププレートなどが異常高温になります。



グリル水入れ皿の取扱いについて

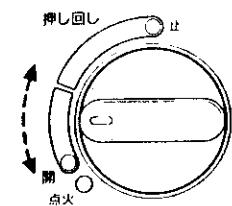
- グリルとびらを止まるまで引き出すと、グリルとびらのみ下がりグリル水入れ皿はそのままの状態で止まります。焼きものの出し入れ、反転、確認が容易に出きます。
- グリル水入れ皿は、グリルとびらを持って静かに引き出してください。急に引き出すと水がこぼれることができます。
- 取り出すときは、グリルとびらを止まるまでいっぱいに引き出し、そのまま持ち上げて取り出します。グリル水入れ皿を持って取り出すと、グリルとびらが落下したり、やけどのおそれがあります。
- グリルとびらを持ち上げて引き出すと、途中で止まらないことがあります。ご注意ください。



■点火

グリル用器具せんつまみ(一番右側のつまみ)で、「コンロ」の使いかたと同様に操作して点火してください。

●グリルとびらから内部の上側を見てバーナーへの点火を確認し、そのまま数秒間つまみを押し続けてください。



■火力調節

「コンロ」の使いかたと同様に操作して調節してください。

■消火

焼き上がりしたら、「コンロ」の使いかたと同様に操作して消火してください。

点火・火力調節・消火

△注意

- グリル水入れ皿には、必ず水を入れてお使いください。水を入れないと、床面の過熱や魚などから出た脂に引火することがあります。
- 魚焼きのまま絶対に放置しないでください。魚が燃え出し、グリル排気口ふた部より炎が出て危険です。
- 取り出すときはグリルとびらを止まるまでいっぱいに引き出し、そのまま持ち上げて取り出します。

上手な使いかた

- 表面のこげつきやすいもの(つけ焼き、てり焼き、かす漬けなど)や、火とのおりの悪い魚などは、予熱せずにそのまま焼きます。
- それ以外の魚や肉などは、点火後10分ほど予熱してから材料を入れて焼くとおいしく焼け、焼き上がり後材料を取り出しやすくなります。
- 魚のこげやすい尾・ひれの部分には、厚目に塩をふっておくか、アルミ箔でつつんでおくと、こげ方が少なくなります。

- 魚はほどよい焼き色になったら、裏返して焼き上げてください。なお、裏を焼いてから再度おもて側を焼くと、おいしく焼き上がります。

点検とお手入れ

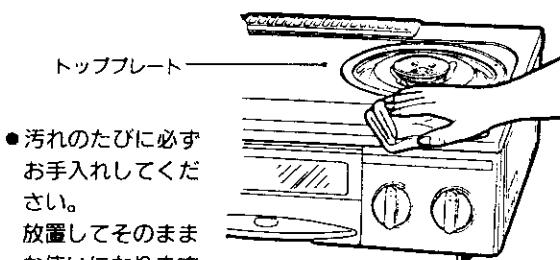
点検のポイント

- ガステーブルのまわりに燃えやすいものを置いていませんか。
- ゴム管が古くなったりひび割れたり、ガステーブルや他の機器に触れたり、折れたりしていませんか。
- ゴム管は、お部屋のガス栓と機器のゴム管口の赤い線まで、十分に差し込まれていますか。
- バーナーキャップ、しる受け皿、ごとくなどが、浮いていたり傾いていたりしていませんか。
- 立消え安全装置の炎検出部に、煮こぼれによる異物などが付着していませんか。

お手入れ方法 (お手入れは、お部屋のガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ないます。)

フッ素コートトッププレート

- ①表面が汚れたら、毎回スポンジタワシ、キッチンペーパー、布などのやわらかいもので、台所用洗剤や水を含ませて、ていねいに汚れを落としてください。



- 汚れのたびに必ずお手入れしてください。

放置してそのままお使いになりますと、汚れがとれにくくなり、シミが残ることがあります。

- ②汚れが簡単に落ちない場合は、台所用洗剤や水で汚れた部分を湿らせ、しばらくしてからスポンジタワシ等やわらかいものでふきとてください。

フッ素樹脂コートをいためないために

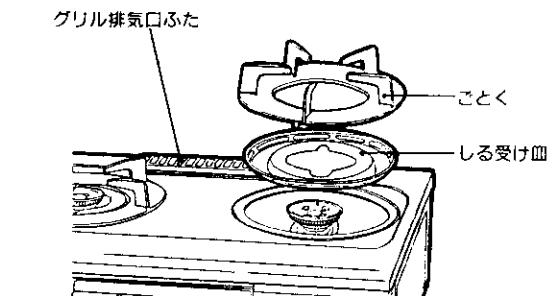
金属タワシ、ナイロンタワシ、みがき粉、ナイフなどの固いものや中性洗剤以外の洗剤は、表面を傷つけますので使用にならないでください。

- ③汚れがどうしても落ちない場合は、もう一度台所用洗剤や水で汚れた部分を湿らせてラップをかけ、しばらくしてナイロンタワシで汚れた部分を集中的に軽くこすって落としてください。なお、凹部の汚れ落としは割ばし等を利用してください。

- 強くこすると表面のフッ素樹脂が剥がれことがありますので注意してください。

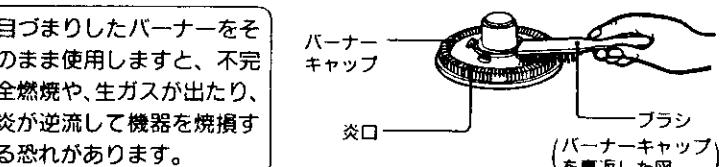
しる受け皿、グリル排気口ふた、ごとく

台所用中性洗剤などで洗います。
洗った後は、よく水気をふきとてから取り付けます。

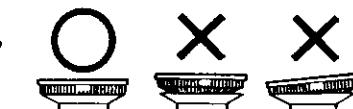


バーナー部

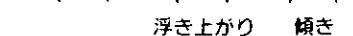
- ①バーナーに煮こぼれがかかったときは、その都度バーナーキャップを外して、やわらかいブラシやキリなどで掃除してください。



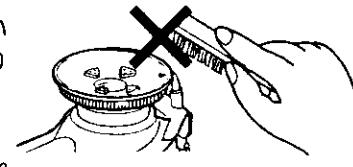
- バーナーキャップを水洗いされた場合は、完全に乾かしてから取付けてください。



- バーナーキャップは、浮き上がりや傾きのないよう正しく取付けてください。



- バーナーキャップが外れなくなってしまった場合には、とりあえずそのまま(バーナーボディに付けたまま)で炎口のつまりを取り除いて使用し、早目に修理(バーナーの交換)をお買い上げの販売店に依頼してください。



- バーナーキャップの炎口部の歯が薄くなったり、歯こぼれしたときは、新しい部品と交換してください。

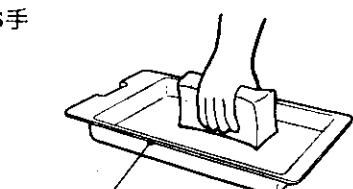
- ②立消え安全装置の炎検出部について
た煮こぼれや水は、布でふき取ります。



- ブラシなどかたいものでみがかないでください。故障の原因となります。

グリル水入れ皿、グリル焼網

脂などの汚れがこびり付くと、においがついたり、脂に火が移るなどの原因になります。使うたびに、お手入れするよう心がけてください。

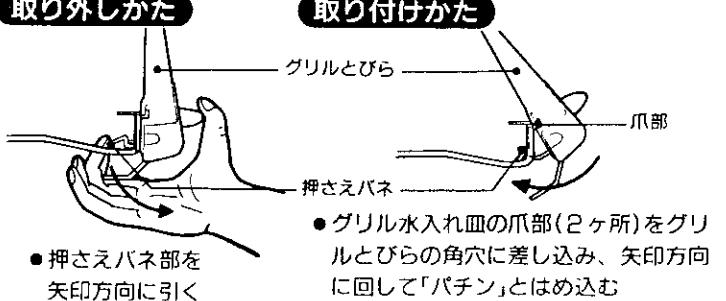


- グリルとびらを持ち上げるように引き出しつつ、グリル水入れ皿を取りはずします。



- 中性洗剤などで洗ったあと、よく水気をふきとてから取り付けます。

- グリルとびらは取り外して掃除ができます。(下図)



取り外しかた

- グリルとびら
- 爪部
- 押さえバネ
- グリル水入れ皿の爪部(2ヶ所)をグリルとびらの角穴に差し込み、矢印方向に回して「パチン」とはめ込む

立てる点検とお手入れ

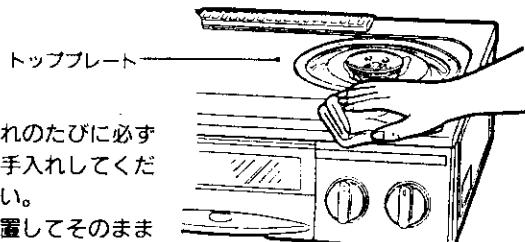
点検のポイント

- ガステーブルのまわりに燃えやすいものを置いていませんか。
- ゴム管が古くなつてひび割れたり、ガステーブルや他の機器に触れたり、折れたりしていませんか。
- ゴム管は、お部屋のガス栓と機器のゴム管口の赤い線まで、十分に差し込まれていますか。
- バーナーキャップ、しる受け皿、ごとくなどが、浮いていたり傾いていたりしていませんか。
- 立消え安全装置の炎検出部に、煮こぼれによる異物などが付着していませんか。

お手入れ方法 (お手入れは、お部屋のガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ないます。)

フッ素コートトッププレート

①表面が汚れたら、毎回スポンジタワシ、キッチンペーパー、布などのやわらかいもので、台所用洗剤や水を含ませて、ていねいに汚れを落としてください。



●汚れたたびに必ずお手入れしてください。
放置してそのままお使いになりますと、汚れがとれにくくなり、シミが残ることがあります。

②汚れが簡単に落ちない場合は、台所用洗剤や水で汚れた部分を湿らせ、しばらくしてからスポンジタワシ等やわらかいものでふきとってください。

フッ素樹脂コートをいためないために

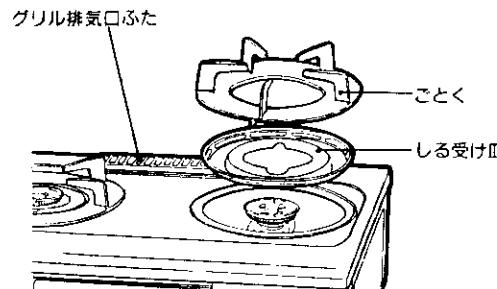
金属タワシ、ナイロンタワシ、みがき粉、ナイフなどの固いものや中性洗剤以外の洗剤は、表面を傷つけますので使用にならないでください。

③汚れがどうしても落ちない場合は、もう一度台所用洗剤や水で汚れた部分を湿らせてラップをかけ、しばらくしてナイロンタワシで汚れた部分を集中的に軽くこすって落としてください。なお、凹部の汚れ落としは割ばし等を利用してください。

●強くこすると表面のフッ素樹脂が剥がれることがありますので注意してください。

しる受け皿、グリル排気口ふた、ごとく

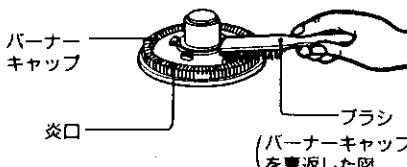
台所用中性洗剤などで洗います。
洗った後は、よく水気をふきとつてから取り付けます。



バーナー部

①バーナーに煮こぼれがかかったときは、その都度バーナーキャップを外して、やわらかいブラシやキリなどで掃除してください。

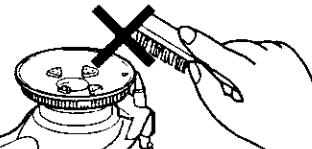
目づまりしたバーナーをそのまま使用しますと、不完全燃焼や、生ガスが出たり、炎が逆流して機器を焼損する恐れがあります。



●バーナーキャップを水洗いされた場合は、完全に乾かしてから取付けてください。
●バーナーキャップは、浮き上がりや傾きのないよう正しく取付けてください。
●バーナーキャップが外れなくなつてしまつた場合には、とりあえずそのまま(バーナーボディに付けたまま)で炎口のつまりを取り除いて使用し、早目に修理(バーナーの交換)を、お買い上げの販売店に依頼してください。



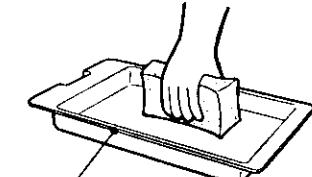
●バーナーキャップの炎口部の歯が薄くなつたり、歯こぼれしたときは、新しい部品と交換してください。
②立消え安全装置の炎検出部についた煮こぼれや水は、布でふき取ります。



●ブラシなどかたいものでみがかないでください。故障の原因となります。

グリル水入れ皿、グリル焼網

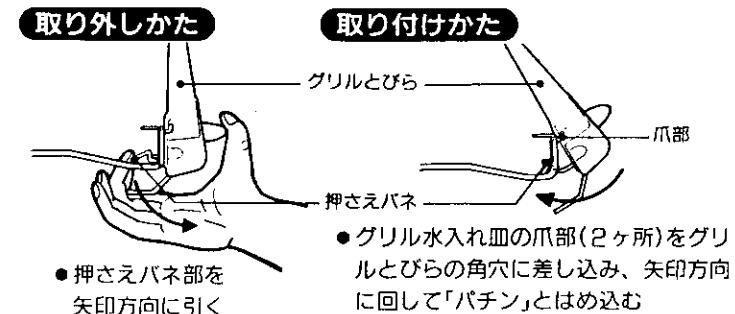
脂などの汚れがこびり付くと、においがついたり、脂に火が移るなどの原因になります。使うたびに、お手入れするよう心がけてください。



●グリルとびらを持ち上げるように引き出しつつ、グリル水入れ皿を取りはずします。

中性洗剤などで洗ったあと、よく水気をふきとつてから取り付けます。

●グリルとびらは取り外して掃除ができます。(下図)



故障かな? と思ったら

故障かな? と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。

修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

次のことを調べてください

現象	チェック項目
点火しない	・お部屋のガス栓は全開になっていますか ・ゴム管は折れていませんか ・点火操作は正しいですか (器具せんつまみを「点火」位置で) (少し長めに押し続けてください)
点火しにくい	・立消え安全装置の炎検出部が汚れていませんか ・バーナーキャップの炎口が目づまりしていませんか
使用中に消炎する	・立消え安全装置の炎検出部が汚れていませんか ・バーナーキャップが変形していませんか
黄色の炎で燃える炎が安定しない異常な音をたてて燃焼する	・バーナーキャップが浮いたり傾いたりしていませんか ・バーナーキャップの炎口が目づまりしていませんか
ガスくさい	・ゴム管がひび割れていませんか ・ゴム管が正しく接続されていますか

こんなときは故障ではありません

現象	現象と対策
点火・消火したとき「ボツ」と音がする	点火・消火音です。異常ではありません
初めてグリルを使用したとき、煙やにおいが出る	部品に付着している油がやけるためです グリル水入れ皿に水を入れ、10分間ほどから焼きしてください
点火や消火のあとにキシミ音がする	金属が加熱や冷却されるため、膨張・収縮して起こる音です

立消え安全装置が作動したときの処置方法

- 使用中バーナーの炎が消えたときは
立消え安全装置が作動して自動的にガスは止まりますが、完全に止まるまでに多少時間がかかります。
バーナーの消火に気付いたときは、すぐに器具せんつまみを消火の位置に回してください。
- 再点火するときは
周囲に生ガスがなくなるまで、換気などしてから点火してください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

■保証書 (この商品は保証書付きです)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受けとっていただき、内容をよくお読みのあと大切に保管してください。
●保証期間はお買い上げの日から1年です。

■修理を依頼されるときは

出張修理

「故障かな? と思ったら」の項目を調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

ご連絡していただきたい内容

品名・形式名	日立ガステーブル・GHG-316FL(R)
お買い上げ日	年月日
故障の状況	できるだけ具体的に
住所・電話番号	付近の目印等も合わせて
お名前・訪問ご希望日	

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従つて、販売店が修理させていただきます。
●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」(別添)にお問い合わせください。

■長期間使用しない場合

各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールなどをかけて、お買い上げになつたときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところで保管してください。
特にガスの通路部(ゴム管口)には、ほこりが入って通路をつまらせないよう注意してください。

■補修用性能部品の最低保有期間

ガステーブルの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後5年です。
●この期間は通商産業省の指導によるものです。
●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料です。

技術料	故障した製品を正常に修理するための料金です。技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

■転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
なお、この製品はガス種が変わった場合は、改造や調整が必要となりますので、転居先の販売店にご相談、ご用命ください。
(改造や調整にかかる費用については販売店におたずねください。)